

ひとりで調べてもわからない
マイナー疑問解決します！

茨城キリスト教大学
看護学部 櫻本秀明

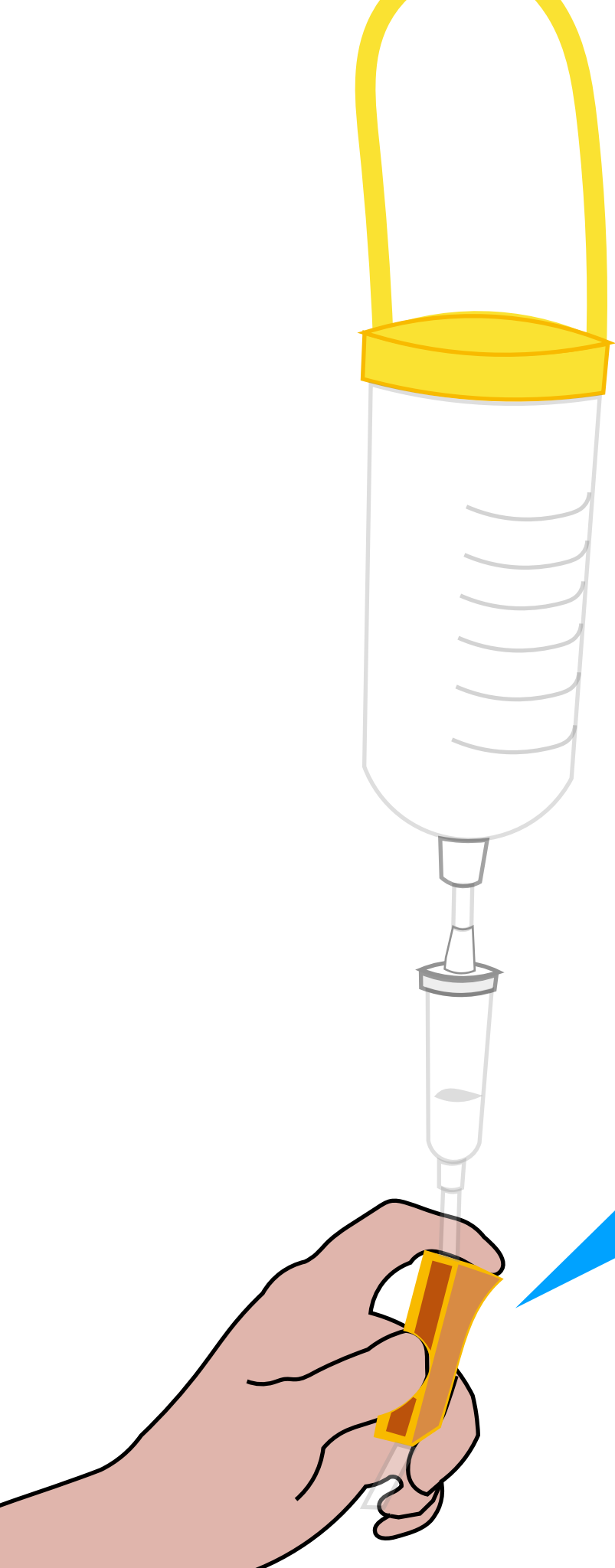
＊この教育セミナーの注意事項

個人的な見解です。

実際の臨床での適応前に

必ず、元論文をお読みいただき

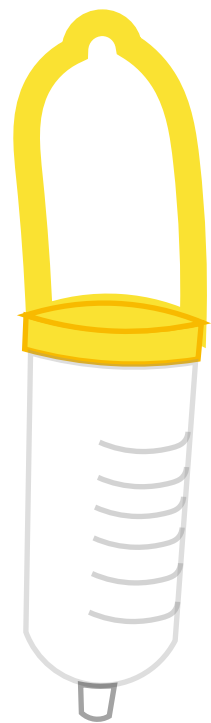
周囲の医療者との十分な議論をすることをお勧めします



サクシヨンや体位変換のときに、
投与中の経腸栄養剤を一時的に中断
(クランプ→体位変換・サクシヨン→解除)
しているのですが、
これって意味ありますか？

もちろん論文はない

経腸栄養投与方法の種類



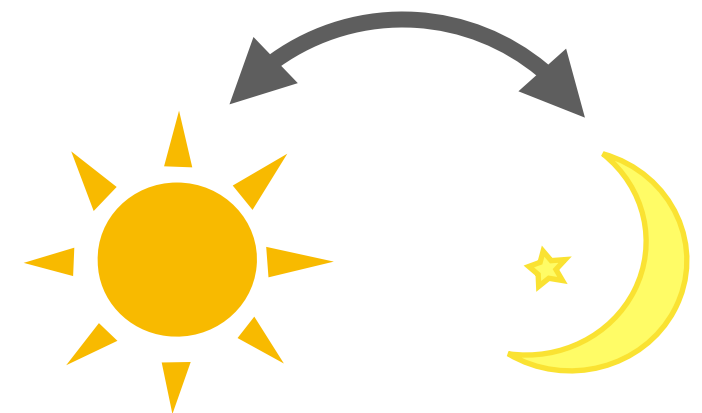
×3回
朝昼夕

間欠

1日3回～8回



夜間のみ持続



24時間持続

経管栄養中はできれば
嘔吐や逆流のリスクになるような
行為は避けたい

例えば、どんな時逆流や嘔吐が起こりそう？



サクション



体位変換

経管栄養中～後には
あまりやりたくない
でも『24時間持続？』

こんなときも
一時的に
クランプ？

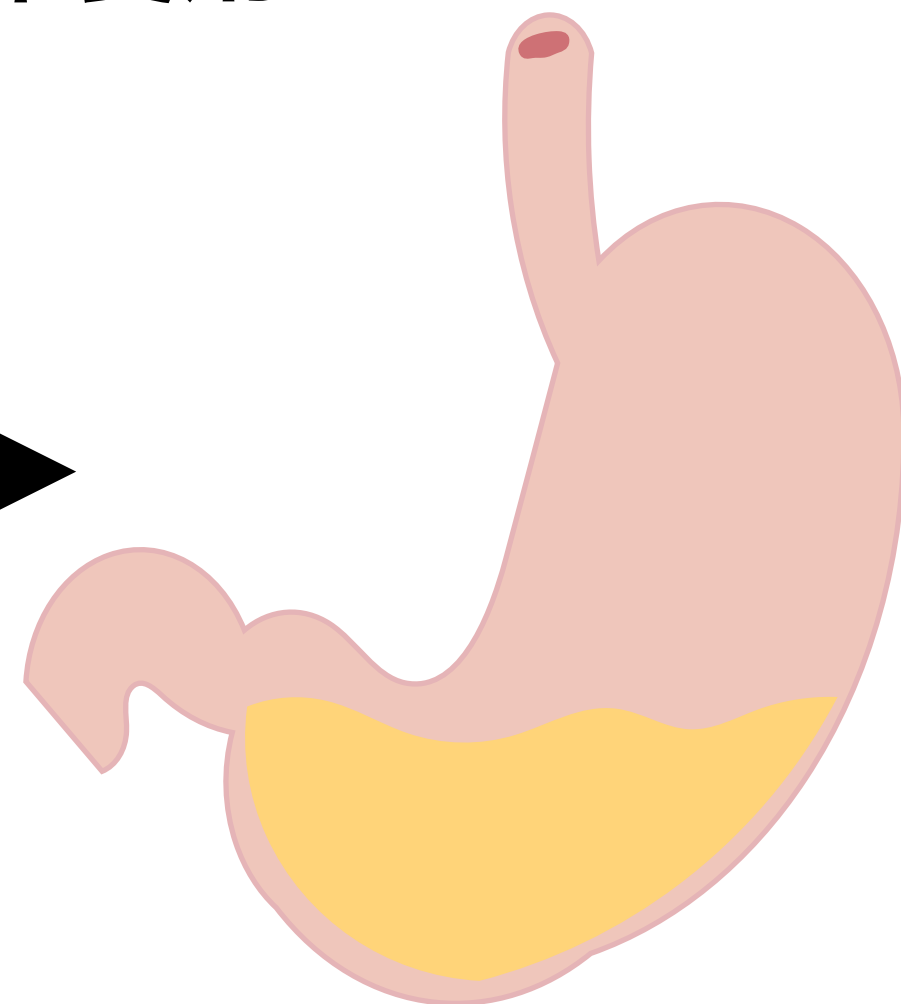
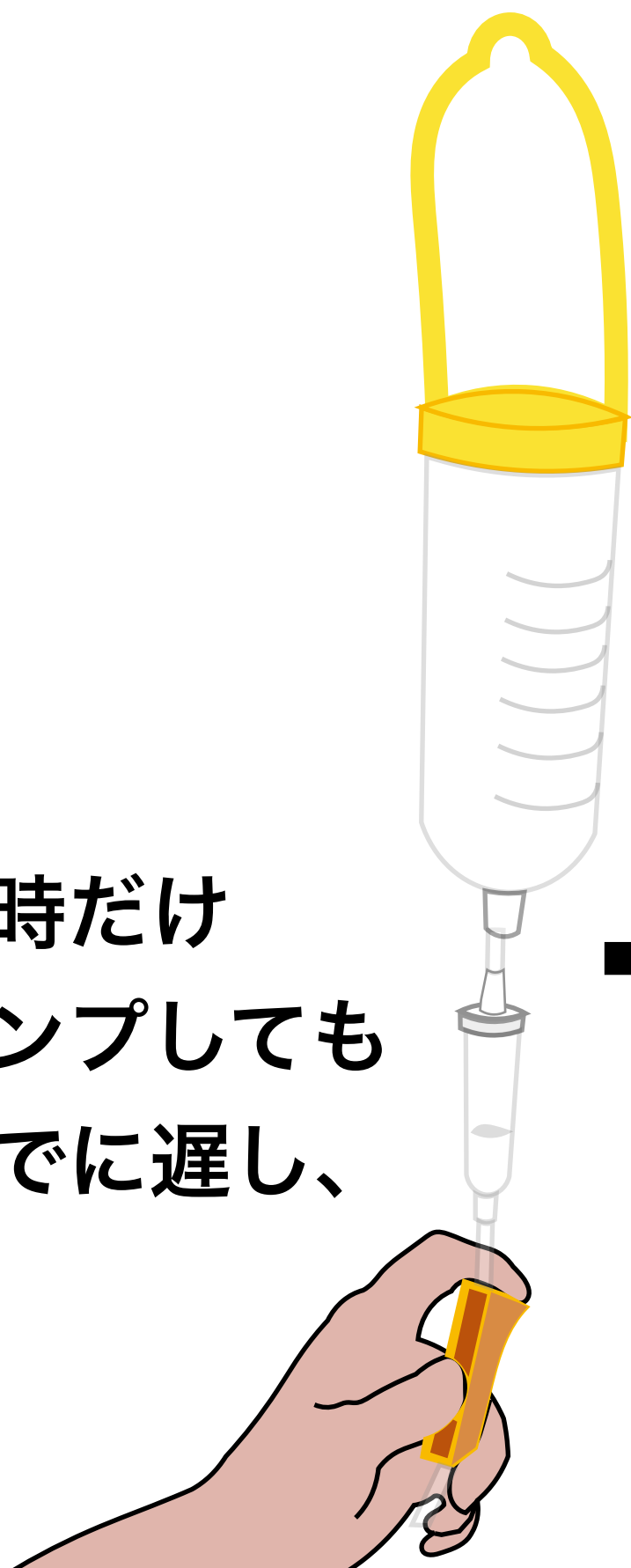
『投与中？』こんな時どうする？



ってことは
意味ある？

胃の中には
栄養剤がある！！！！

処置時だけ
クランプしても
時すでに遅し、



加えて、胃液の量

ってことは
意味ある？



一回の食事：約500～700ml
1日分泌量：約1500～2500ml

まとめ

すでに投与されてしまっている栄養剤は胃の中に！
ちょっとのケアの間、毎回栄養剤投与を中断しなくてもいい！
むしろ開け忘れるかも

＊投与中に実施しなくていいように、投与前に体位変換やサクションをするなどの工夫はもちろん必要。